



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <https://www.maruchan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 住本 憲隆

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 早川 崇 TEL 03-3458-5246

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	395,214	10.3	62,298	29.8	69,294	29.2	52,266	31.0
2024年3月期第3四半期	358,399	10.2	48,011	50.6	53,621	57.9	39,904	57.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 61,870百万円 (17.0%) 2024年3月期第3四半期 52,882百万円 (41.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	519.51	-
2024年3月期第3四半期	390.73	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	595,846	493,088	80.7
2024年3月期	570,994	474,534	81.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 480,705百万円 2024年3月期 462,316百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	60.00	-	110.00	170.00
2025年3月期	-	80.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	90.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	510,000	4.3	72,000	8.0	78,000	4.2	59,000	6.0	577.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有  
新規 1社 (社名) つくばフーズ株式会社、除外 1社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	110,881,044株	2024年3月期	110,881,044株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	11,254,424株	2024年3月期	8,754,177株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	100,605,525株	2024年3月期3Q	102,127,061株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(企業結合等関係) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、一部に足踏みもみられますが、緩やかに回復する状況にありました。先行きにつきましては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されますが、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は395,214百万円（前年同四半期比10.3%増）、営業利益は62,298百万円（前年同四半期比29.8%増）、経常利益は69,294百万円（前年同四半期比29.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は52,266百万円（前年同四半期比31.0%増）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間末の為替換算レートは、158.15円/米ドル（前第3四半期連結累計期間末は、141.83円/米ドル）であります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

水産食品事業は、円安による原料価格の上昇等があったものの、コンビニエンスストア向け具材商品や既存顧客に対する積極的な営業活動による販売数量の伸長等から増収となりました。その結果、売上高は23,174百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益は、利益率の高い商材の販売数量の伸長や、原料価格が安定したことで仕入コストを抑えられた商材もあったこと等により793百万円（前年同四半期比240.8%増）となりました。

海外即席麺事業は、米国では前期において一部得意先の在庫調整による影響で販売数量が減少していたことに加え、当期は主力商品の「Ramen」シリーズ、「Instant Lunch」シリーズが堅調に推移いたしました。メキシコでは主力商品のカップ麺は4月に実施した価格改定後も堅調に推移し、袋麺は拡売により好調に推移いたしました。加えて、為替の影響も寄与し、増収となりました。その結果、売上高は182,306百万円（前年同四半期比18.4%増）、セグメント利益は、運送費や人件費等の増加はあったものの、原材料費の減少や売上高の増加等により44,516百万円（前年同四半期比41.8%増）となりました。

国内即席麺事業は、改定後の価格が浸透したこともあり、主力商品を中心に好調に推移いたしました。カップ麺では主力商品の「赤いきつねうどん」「緑のたぬき天そば」が堅調だったほか、「麺づくり」シリーズにて6月に麺増量企画を実施したことや9月にリニューアル発売をした効果等により増収となりました。袋麺では「マルちゃん正麺」シリーズが堅調だったほか、9月に博多豚骨ラーメンを新発売した「マルちゃんZUBAAN!」シリーズも好調に推移いたしました。その結果、売上高は78,919百万円（前年同四半期比3.5%増）、セグメント利益は、人件費等の増加はあったものの、売上の拡大等により8,599百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。

低温食品事業は、主力商品の積極的な拡売と新商品の発売により堅調に推移いたしました。生麺では主力商品の「マルちゃん焼そば3人前」シリーズにて四季に合わせ各2品ずつ発売し、シリーズの活性化を図りました。その他の商品では夏季の涼味商品の好調に加え、うどん関連では「玉うどん3食入り」シリーズの需要拡大により増収となりました。冷凍食品では産業給食や外食・行楽関係の需要拡大により冷凍麺等の業務用商品が伸長し、惣菜向け商品等の販売も拡大いたしました。その結果、売上高は45,564百万円（前年同四半期比5.6%増）、セグメント利益は、人件費等の増加はあったものの、売上の拡大等により6,199百万円（前年同四半期比10.7%増）となりました。

加工食品事業は、米飯商品を中心に需要の高い状況が続き、販売数量、金額ともに伸長いたしました。米飯商品では米不足等の影響により需要が高まり、無菌米飯商品、レトルト米飯商品ともに好調に推移したことで増収となりました。フリーズドライ商品では主力商品の「素材のチカラ」シリーズが堅調だったほか、9月にカップスープの新商品を発売したこと等で増収となりました。その結果、売上高は16,713百万円（前年同四半期比12.2%増）、セグメント利益は、売上の拡大等による影響はあったものの、原材料費等の増加により346百万円（前年同四半期比40.0%減）となりました。

冷蔵事業は、物価上昇や円安の影響等により、輸入品は低調な荷動きとなりましたが、アイスクリーム等を中心とした国内品の取扱いが堅調だったことで、関連する配送や付帯作業等が増加したことにより増収となりました。その結果、売上高は19,330百万円（前年同四半期比5.3%増）、セグメント利益は、設備更新等による減価償却費や物価上昇による人件費、運送費の増加等により1,835百万円（前年同四半期比5.9%減）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は29,205百万円（前年同四半期比1.3%増）、セグメント利益は910百万円（前年同四半期比46.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は24,851百万円増加し、595,846百万円、純資産は18,554百万円増加し、493,088百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に有価証券が減少しましたが、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産が増加しました。負債は、主に未払法人税等が減少しましたが、支払手形及び買掛金、未払費用が増加しました。純資産は、主に自己株式の取得に伴う自己株式の増加により減少しましたが、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加しました。

この結果、自己資本比率は80.7%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関する事項につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績が想定していた範囲内で推移しているため、2024年5月10日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	189,706	248,467
受取手形、売掛金及び契約資産	65,030	79,171
有価証券	65,000	—
商品及び製品	18,106	17,348
仕掛品	482	473
原材料及び貯蔵品	18,428	20,576
その他	6,588	6,681
貸倒引当金	△798	△799
流動資産合計	362,544	371,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	71,254	69,483
機械装置及び運搬具（純額）	43,987	47,735
土地	35,435	36,042
リース資産（純額）	1,448	1,277
建設仮勘定	13,611	22,949
その他（純額）	1,125	1,201
有形固定資産合計	166,863	178,690
無形固定資産		
のれん	—	688
その他	2,648	4,050
無形固定資産合計	2,648	4,739
投資その他の資産		
投資有価証券	36,605	36,192
繰延税金資産	1,323	1,160
退職給付に係る資産	55	47
その他	954	3,095
投資その他の資産合計	38,938	40,496
固定資産合計	208,450	223,926
資産合計	570,994	595,846

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,443	36,476
短期借入金	390	439
リース債務	288	283
未払費用	26,788	29,851
未払法人税等	5,547	2,708
役員賞与引当金	262	170
資産除去債務	9	—
その他	4,114	4,353
流動負債合計	69,846	74,281
固定負債		
リース債務	2,885	2,711
繰延税金負債	5,689	6,080
役員退職慰労引当金	325	310
退職給付に係る負債	15,864	15,774
資産除去債務	195	195
その他	1,653	3,404
固定負債合計	26,614	28,476
負債合計	96,460	102,757
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,941	22,940
利益剰余金	369,556	402,618
自己株式	△8,239	△32,181
株主資本合計	403,228	412,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,025	14,003
繰延ヘッジ損益	46	67
為替換算調整勘定	44,033	53,134
退職給付に係る調整累計額	982	1,152
その他の包括利益累計額合計	59,088	68,358
非支配株主持分	12,217	12,383
純資産合計	474,534	493,088
負債純資産合計	570,994	595,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	358,399	395,214
売上原価	257,107	274,555
売上総利益	101,291	120,659
販売費及び一般管理費	53,279	58,360
営業利益	48,011	62,298
営業外収益		
受取利息	4,270	5,488
受取配当金	621	721
持分法による投資利益	93	160
雑収入	1,057	957
営業外収益合計	6,043	7,328
営業外費用		
支払利息	162	155
貸倒引当金繰入額	151	1
雑損失	119	176
営業外費用合計	433	332
経常利益	53,621	69,294
特別利益		
固定資産売却益	1	11
投資有価証券売却益	132	512
補助金収入	13	75
その他	6	—
特別利益合計	154	599
特別損失		
固定資産除売却損	216	301
減損損失	149	20
その他	0	0
特別損失合計	366	321
税金等調整前四半期純利益	53,409	69,572
法人税、住民税及び事業税	13,477	16,568
法人税等調整額	△103	378
法人税等合計	13,373	16,946
四半期純利益	40,035	52,625
非支配株主に帰属する四半期純利益	131	359
親会社株主に帰属する四半期純利益	39,904	52,266

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	40,035	52,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,092	△100
繰延ヘッジ損益	49	20
為替換算調整勘定	9,409	9,101
退職給付に係る調整額	211	176
持分法適用会社に対する持分相当額	83	46
その他の包括利益合計	12,847	9,244
四半期包括利益	52,882	61,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,596	61,536
非支配株主に係る四半期包括利益	286	333

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2024年6月4日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,500,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において単元未満株式の買取も含め、自己株式が23,942百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が32,181百万円となっております。

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

## (企業結合等関係)

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 不二つくばフーズ株式会社  
 事業の内容 油揚げ原反の製造

## (2) 企業結合を行った主な理由

油揚げ原反は、主力商品である「赤いきつねうどん」をはじめ、多くの商品に使用されております。将来的な安定調達を実現するため、持分を取得することといたしました。

## (3) 企業結合日

2024年7月3日（みなし取得日 2024年7月1日）

## (4) 企業結合の法的形式

現金及び預金を対価とする持分取得

## (5) 結合後企業の名称

つくばフーズ株式会社

## (6) 取得した議決権比率

100%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金及び預金を対価とする持分取得により、議決権比率の100%を獲得したことによるものであります。

## 2. 当第3四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年7月1日から2024年12月31日まで

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	1,874百万円
取得原価		1,874百万円

## 4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 1百万円

## 5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれん

725百万円

なお、のれんは、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

## (2) 発生原因

今後の事業活動によって期待される将来の超過収益から発生したものであります。

## (3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

## 6. 企業結合日に受け入れた資産および引き受けた負債の額ならびにその主な内訳

流動資産	52百万円
固定資産	1,369百万円
資産合計	1,421百万円
流動負債	230百万円
固定負債	41百万円
負債合計	272百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	12,417百万円	12,693百万円
のれんの償却額	—	36

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
日本	22,769	—	76,270	43,136	14,889	18,354	175,420	28,699	204,120	—	204,120
米州	—	153,936	—	—	—	—	153,936	—	153,936	—	153,936
その他	205	—	—	—	—	—	205	137	342	—	342
売上高(注) 4	22,975	153,936	76,270	43,136	14,889	18,354	329,562	28,836	358,399	—	358,399
外部顧客への売上高	22,975	153,936	76,270	43,136	14,889	18,354	329,562	28,836	358,399	—	358,399
セグメント間の内部 売上高又は振替高	956	—	62	8	0	825	1,853	28	1,882	△1,882	—
計	23,931	153,936	76,333	43,144	14,890	19,180	331,416	28,865	360,282	△1,882	358,399
セグメント利益	232	31,391	7,945	5,599	577	1,951	47,699	623	48,322	△311	48,011

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益の調整額△311百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,205百万円、棚卸資産の調整額26百万円及びその他の調整額868百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料の相殺消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は主に顧客との契約から認識された収益であり、その他の源泉から認識された収益の額に重要性はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
金額的重要性が乏しいため記載を省略しております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
日本	22,896	—	78,919	45,564	16,713	19,330	183,423	29,057	212,480	—	212,480
米州	—	182,306	—	—	—	—	182,306	—	182,306	—	182,306
その他	278	—	—	—	—	—	278	148	427	—	427
売上高(注) 4	23,174	182,306	78,919	45,564	16,713	19,330	366,008	29,205	395,214	—	395,214
外部顧客への売上高	23,174	182,306	78,919	45,564	16,713	19,330	366,008	29,205	395,214	—	395,214
セグメント間の内部 売上高又は振替高	881	—	68	9	0	874	1,835	19	1,854	△1,854	—
計	24,056	182,306	78,987	45,574	16,714	20,205	367,844	29,225	397,069	△1,854	395,214
セグメント利益	793	44,516	8,599	6,199	346	1,835	62,291	910	63,202	△903	62,298

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益の調整額△903百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△736百万円、棚卸資産の調整額△25百万円及びその他の調整額△140百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に営業外取引との相殺消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 売上高は主に顧客との契約から認識された収益であり、その他の源泉から認識された収益の額に重要性はありません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

金額的重要性が乏しいため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「国内即席麺事業」セグメントにおいて、つくばフーズ株式会社の全株式を取得したことにより、第2四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては725百万円であります。なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。